

- オンライン診療やICTの活用により、重症化予防に取り組むとともに、新興感染症流行時等の非常時においても、切れ目なく適切な医療が受けられる体制整備を推進します。
- かかりつけ歯科医との連携を強化し、医科歯科連携による糖尿病患者の口腔ケアを実施していく体制の整備を図ります。
- 糖尿病地域連携クリティカルパスや糖尿病連携手帳の利用を促進し、地域連携体制の構築を図ります。
- 他疾患治療のために入院中の患者の血糖値を把握し、適切な血糖管理を行うための体制整備を行います。
- 医療機関に両立支援コーディネーターを配置し、産業医等の治療と仕事の両立支援に係る人材と連携し、糖尿病患者が治療を継続し、適切な生活習慣に努めることができるように支援を行います。
- 高齢者の糖尿病管理に関しては、在宅医療や訪問看護、介護サービス等を行う事業者等との連携を図ります。
- 慢性腎臓病（CKD）において、かかりつけ医から腎臓専門医・専門医療機関への紹介基準等により、医療連携を強化します。
- 慢性腎臓病（CKD）における医療連携ツール（慢性腎臓病地域連携クリティカルパスやCKDシール等）の活用により医療連携を充実させます。

数値目標の設定と考え方

(1) 予防対策の推進

項目	現状	目標(令和11年度)	設定の考え方
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	30.8% (令和3年度) (平成20年度 28.0%)	平成20年度比 25%以上減少	第四期和歌山 県医療費適正 化計画の目標 値
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率 (特定保健指導対象者の減少率として算出)	平成20年度比 10.7%減少 (令和3年度)		

(2) 早期発見

項目	現状	目標(令和11年度)	設定の考え方
特定健康診査の実施率	48.9% (令和3年度)	70%以上	第四期和歌山県医療費適正化計画の目標値
うち市町村国保分	35.5% (令和3年度)	60%以上	
県内の特定保健指導の実施率	23.2% (令和3年度)	45%以上	第四期和歌山県医療費適正化計画の目標値
うち市町村国保分	20.7% (令和3年度)	60%以上	

全体の実施率：厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」
市町村国保の実施率：国民健康保険中央会「市町村国保特定健康診査・特定保健指導実施状況報告書」

(3) 医療連携体制の確保

項目	現状	目標(令和11年度)	設定の考え方
糖尿病連携手帳を活用している医療圏数	3圏 (令和5年度)	7圏	全二次医療圏
糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数	102人 (令和3年)	87人 (令和17年度)	第四次和歌山県健康増進計画の目標値

目標設定における第七次計画からの変更点

- 糖尿病における地域連携は、在宅医療や訪問看護、介護サービス事業者等の多職種連携が必要となることから、糖尿病連携手帳の利用促進を図ることとし、「地域連携クリティカルパスを実施している医療圏数」としている目標項目を、「糖尿病連携手帳を活用している医療圏数」に変更しました。
- 第七次保健医療計画で設定した「糖尿病性腎症重症化予防に取り組む市町村数」は30市町村全てにおいて取り組まれており、目標が達成されたため、「糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数」に変更しました。